

## 宇宙生命哲学

81

### ことはじめ

北里環境科学センター  
名誉顧問／宇宙生命哲学者

伊藤 俊洋

#### 第3回あじさいサミット間近

本誌8月10日号で既に1部紹介した、第3回あじさいサミット(略称あじサミ)が、20日後に迫りました。第1回から、あじサミは「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、体験型学習・異業種歓迎・Z世代の意見尊重をコンセプトにしています。第3回のテーマは「つなげよう、今を生きよう」です。第1回は緑区の藤野芸術の家で、第2回はソレイユさがみと橋本公民館で開催されました。第3回は南区で、本年創立125周年を迎えるの相模女子大学の7号館を丸ごとお借りし、11月30日に開催されます。

医療・介護・福祉の専門家や地域で活動する人々が、それぞれ独創的な企画を立案し、県外からのゲ

ストを交え、産官学共同で開催します。企画者と参加者が、立場や肩書きを超えて同じ空間で、新たな出会いと視点を共有することを目指しています。30余種類の企画には、医療・介護関連のシンポジウムや映画鑑賞、自由な談話会、いきいき百歳体操、食と口腔ケアに関する企画、人生会議・ハンディキャップ・手話・おくりびとの体験、分身ロボット、スマホ相談会、ミニプラネタリウム、看護師さん達の生演奏などと共に、相模原市役所の医療政策課など4課がブース出店します。野外会場でポニー乗馬体験(アニマルセラピー)、移動図書館、移動歯科診療車、福祉車両C+walksの展示と試乗、キッチンカー(豚丼・カレー・タイ焼きなど)、地元の新鮮野菜の販売などもあり、家族ぐるみで楽しんで頂きます。

私は、トークショウの1つとして「素敵な地球人のすすめ」について講演します。ミニプラネタリウムが開設されますので、星空を観る楽しさを体験し、宇宙から地球を観る感覚で、時空を超えて、地球上で繰り広げられる生命現象と文明のあり方を、

参加者の全ての世代の方と一緒に考えたいと思います。

地球上では、今、ポピュリズムが蔓延して、格差と分断が進み、将来を担う子供たち

の心は荒んでいます。地球上では、人類も含めて全ての生物が過去から現在、そして未来へと原子レベルで繋がって、循環しています。今回のテーマである「つなげよう、今を生きよう」を、宇宙生命哲学の視点で考察しお話しするつもりです。メッセージは、「人生とは、素敵な地球人になる終わりのない練習である」です。

会場でお会いできることを楽しみにしています。来年は、第4回あじサミを中央区で開催予定です。



星つむぎの村のエアドーム型プラネタリウム